

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム
第 36 例会 2021.6.14 (#2310)

オンライン例会

卓話「感染症について」

元ロータリー財団奨学生 戸田祐太医師
紹介者 浅野会員

前回の報告

第 35 例会 2021.6.7 (#2309)

オンライン例会

米山奨学生 フ シャオ(何 瀟)さんの自己紹介
例会終了後、新旧合同理事会

会長報告

- 1) 今日は、フ シャオ米山奨学生のお話をさせていただくことになっています。
- 2) 6月1日には若林ガバナーエレクトによるPETSがオンラインで開催されました。会長エレクトをはじめ各地区委員の皆様160名あまりが参加して、研修を致しました。若林ガバナーの多岐にわたるアイデアに沿って全ロータリアン参加型の楽しいイベントがあり、忙しい年度になりそうです。皆様のご協力をお願いいたします。
- 3) 来週は、ロンドンヘロータリー財団の奨学生として感染症について研究してこられた、戸田祐太医師から、今の感染症について話していただきます。

幹事報告

- 1) 例会終了後、定例理事会があります。新旧の各理事役員は引き続きお残り下さい。
- 2) 6月21日の例会は、久しぶりにオータニでのリアル例会です。皆様のお顔がそろうことを楽しみにしています

【もっと元気なクラブになるためのワークショップ】 参加希望の方事務局までお知らせください。

日時:2021年7月8日(木)16～18時

場所:ZOOMで行います。ご自身のノートパソコンやタブレット等の機材でご参加ください。

<https://zoom.us/j/95705346629?pwd=c2xoT01KNHllb0F6d09zWHJYUFA0dz09>

ミーティングID: 957 0534 6629 パスコード: 2580

本日の卓話者のご紹介 戸田祐太医師(元 R 財団奨学生)

London School of Hygiene & Tropical Medicine で熱帯医学・国際保健の修士号を取得

「現在」

日本赤十字社医療センター 感染症科/救急集中治療科

国立国際医療研究センター 国際感染症センター

青木病院 内科コロナ病棟担当

複数の病院をかけ持ちですが幸いにして声をかけていただき、コロナ対策やそれに関わる患者さんの対応などさせていただいています。

今後は WHO など国際機関や他の NGO などの海外医療支援にも応募しているのですがコロナで情勢が不安定でなかなか派遣が決まらず(登録されてはいますが確定しない)で、そういった海外での医療活動への準備も並行しているところです。

次回予告

第37回例会 2021.6.21 (#2311)

会場:ガーデンコート5F「シリウス」

例会ホスト・紹介係 藤田君

受付係 荒川君 保科君

会費係 内田君

司会者 濱田君

ソングリーダー 崎山君

「最終例会」

会場:ガーデンコート5F「シリウス」

出欠をお知らせ下さい

拡大する災害による情報喪失を防ぐ技術

IT コンサルタント 石渡 弘行氏(4/19 卓話 木寅会員紹介)



私は元々、IT 業界にいたのですが、10 年前の東日本大震災を契機に、データ消失による産業・ビジネスの停滞を防ぎたいと考えるようになり、ここ 10 年ぐらいをかけていろいろな活動をしています。

経歴としては富士通から IBM に移り、関連会社で銀行システムの設計構築をしていました。2004 年に起業したのですが、このときに IT バブルがはじけて途方に暮れるスタートとなりました。何とか周囲の皆さまのおかげで今日に至っています。今は IoT を使った先端技術を展開するコンソーシアムの理事を務めたり、コロナ対策向けソフトウェアに着手したりしています。

ある調査によると、大規模なデータ消失を経験した中小企業の 10 社のうち 7 社は、1 年以内に倒産しているそうです。破壊的なデータ消失があった企業の 94%は復旧に失敗していますし、災害等で 10 日間以上データが消失したセンターの 93%は、1 年以内に倒産しています。96%のビジネス端末はバックアップをしていないため、災害が起きると物理的にデータがなくなってしまいます。

震災のときには、岩手、宮城両県の 4 市町で 3 万 8600 件の戸籍データが消失しました。ほとんどの大手企業は東北にサーバーを置いていなかったのが深刻な損傷はありませんでしたが、逆に基幹系システムが東北にあった企業では、システム全面停止も発生しました。なお、銀行の多くはバックアップセンターを二つ持っていて、リアルタイムでデータ共有もしているので、銀行データがなくなることはないと考えていいでしょう。

震災から何を学んだかという、われわれは同じような情報の流出や消失を何とか防ぎたいわけで、地方自治体はここ数年で自治体クラウドを始めていて、各自治体がクラウド内にシステムを持つ動きが出てきています。やはり私が考えていたことは正しいと思ったのですが、クラウドの中身を精査すると、省力化・共同化はうたっているものの、災害でいかに早くサービスを復旧させるかということには言及されていなかったのが、ここは何かしなければならなかったと思います。

そこで、クラウドデータと 5G を使って小さな車の中にサーバーを立て、無線通信で住民へのサービスを提供するという企画を進めようとしています。ここで壁となっている

のが、地方自治体のデータが縦割りになっていることです。

また、基幹システムのバックアップを行っている企業は多いのですが、75%の企業のデータ退避先が 30km 未満の近所でした。すると、サーバーやコンピューターが壊れたときには対処できても、大災害のときには一緒に被災するので退避の意味がありません。そこで、地方自治体に向けて、遠隔地にバックアップを持つように力説しているところです。バックアップセンターを新たに作るのは大変なので、例えば埼玉県のデータを広島県で持つなど、姉妹都市同士でバックアップを持てばデータ退避は難しくないと思っています。ネットワークも速いので、自分たちのデータバックアップと同時に退避先でもバックアップを行う仕掛けを考えていて、これについては熊本県のある市と話を始めています。

また、最近の新たな脅威として、テレワークによるデータ消失のリスクがあります。特に、会社から貸与されるパソコンではなく、自分のパソコンで作業する場合、操作ミスやサイバーセキュリティ、ハードウェアの障害、パソコンの紛失などのリスクがあります。そうしたリスク対策としてもクラウド技術は進んでいます。だいぶ導入しやすくなり、値段も安くなって、使い勝手も良くなってきました。盗まれたり置き忘れたりしたときに位置を特定し、遠隔操作でデータ消去することもできますし、パソコンを買い直したときもクラウドにデータがあるのですぐにデータを戻すことができます。

クラウド技術は難しいと思っている方も多いと思いますが、難しい手続きはなくなり、手軽にバックアップやセキュリティ対策、コロナ対策に使えるようになってきました。生活基盤となっている IT 技術を壊さないために、私どもも日々尽力していきますので、どうぞお力添えを頂ければと思います。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	須藤 仁	FAX:03-3263-9122
幹事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋 一晃	URL: www.koujimachi-rc.jp